

参加者募集！！

【岐阜大&全国の大学生で読書ブックレットをつくろう!!】

～大学生が新入生にお勧めする書籍 50 選～

平成 27 年 9 月 25 日

こんにちは！！

岐阜大学・教育企画立案学生チーム(eplus)代表の岩崎誠です(^^)

読書することの楽しさをもっと多くの大学生に伝えるために、来年の新入生（や在学生）に向けて、岐阜大学を中心とした全国の大学生で、「自分たちの好きな本の紹介文集」＝「学生オリジナルの読書ブックレット」をつくってみませんか？

1 人 1 冊、自分の好きな本を 400～1200 字で紹介文を書きましょう!!

まずは、電子版の読書ブックレットをつくり、年明けの 1 月に岐阜大学の 7000 人の全学生と全国の読書好きな大学生の方にメール添付で配布します。そして、それについて語り合う「読書イベント」を複数回開催して、読書の魅力について学部を超えた学生同士で深め合い、学生の読書習慣を身につけるきっかけづくりを目指します！

さあ、沖縄から北海道まで全国の学生の皆さん、お気軽にご参加ください(*^▽^*)

<募集要項>

*目的

★在学生や来年の新入生に「電子版ブックレット」を配布することで、1 人でも多くの学生に読書への親しみをもってもらい、読書習慣を身につけるきっかけを提供すること

★このプロジェクトを機に、紹介文を執筆する僕たち学生もさらに読書に親しみ、みんなに自分の文章を公開する適度な緊張感を味わい、要約力や伝える力を研ぎ澄ますこと

*文字数：400 字以上 1200 字以内

*執筆者：岐阜大学を中心とした**全国の大学生**

現在、B1,B2,B3,B4,M1,M2（大学院生は修士課程まで）

※平成 26&27 年 3 月卒の社会人の方（＝M1,M2 の同期）も大歓迎！

*執筆人数の上限：50 人程度

*対象の本 小説、文庫本、新書、詩集など

- ・なるべく活字だらけの本で、公立図書館 or 大学図書館に配架されてあるような本
- ・マンガ、写真集、図鑑などは不可（紹介する本の具体例を、以下にアップしました。）

*原則1人1冊まで

※但し、例えば、東野圭吾さんがお好きなら、1200字以内で2、3冊程度の本を題材として、東野さんの魅力について人物紹介を中心とした文章にしてもOK(^)

※例2) 資本論をテーマに書きたいなら複数の本を列挙しながら、執筆してもOK。

基本的に書き手の自由です(^)

*紹介文に、写真・図・表・イラストを添付してOK。

但し、写真や図の著作権の取り扱いには十分注意してください(^_<)

<応募方法>

〆切：12月20日 24時 までに

u3121006@edu.gifu-u.ac.jp (岩崎)

または、メッセージ (Facebook のメール)

宛てに①～④を記入した Word ファイル (**横書き**) を添付して、
件名に「読書ブックレットの参加+名前」を明記しメール提出

① 名前+大学名・所属学部・学科+学年

② 本の紹介文 (400～1200字) を横書きで記述。

「です・ます調」でも「である調」でも文体は自由(^)

③ 紹介文の冒頭に「タイトル」をつけること

例1) 「シャーロックホームズの冒険」(角川文庫) の紹介

例2) 新入生に贈る私のお勧めの1冊

～「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」～

例3) 東野圭吾を読んでみよう!

例4) 人生観が揺さぶられた「神様のカルテ」

例5) 大学生なら長編の文庫本読破にチャレンジしよう!

～「カラマーゾフの兄弟」(ドストエフスキー) の紹介～

例6) 私のお勧めする茨木のり子詩集

④ 必要なら写真、図、表、イラストを添えて大歓迎!

(↑著作権の取り扱いに注意)

<編集方法や注意事項>

*皆さんから提出していただいた紹介文を全文、大学名・学部学科・学年・お名前を添えて、読書ブックレットに掲載いたします。

*紹介文に明らかな誤字・脱字等あれば、こちらで編集するかもしれません。ご了承ください。

*word, イラストレーター, フォトショップ等のソフトで、素敵なデザインを添えて、「岐大読書会」で編集をいたします。

*完成した電子版の読書ブックレットは、岐阜大学や全国の読書好きな学生・教職員の方々に、メールで配布する予定です。

*執筆していただいた学生の皆様にも、メールでブックレットをお届けいたします。年明けに送る予定です。

*以下に、読書ブックレット「はじめに」をアップしてあります。この企画の趣旨や目的を具体的に示したので、それを参考に、執筆していただくと幸いです m(_ _)m

★監修責任者★

岩崎 誠 (eplus・岐大読書会/工学研究科社会基盤工学専攻 M1)

質問・相談のある方は、line, メッセンジャー, メールで、いつでもお気軽にどうぞ(^^)

★主催者★

岐阜大学/教育推進・学生支援機構/学修支援部門

教育企画立案学生チーム (eplus)「岐大読書会」

読書ブックレット「はじめに」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

僕は、岐阜大学・教育企画立案学生チーム（愛称：eplus）代表の岩崎誠といいます。eplus は、学部を超えた先生方・職員さんと連携し、大学構成員である学生も教育改善に参画することで岐阜大学の教育をよりよくしながら、学生への読書推進活動をしています。

このブックレットに収められた 50 (→収集できた数を記入) の文章では、岐阜大学を中心に全国の大学に在籍する読書好きな先輩が新入生の皆さんに読んでもらいたい小説、文庫本や新書が紹介されています。それだけでなく、先輩がその本から得た新たな発想、今後の人生につながる指針や新入生の皆さんへのメッセージが綴られています。皆さんに、学生が読書をする事の大切さや楽しさを伝え、これから読書習慣をつけるきっかけにしてほしいという想いで、このブックレットをつくりました。

岐阜大学には「学生憲章」という、大学が学生に期待する7項目の憲章があります。その憲章のトップには「本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう」と掲げられています。さらに、憲章の中には「文化と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう」「専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう」「自分の考えを論理的にまとめ、発表できるようにしよう。」という3項目があります。これらの力を培っていく基盤は多量の読書経験を積むことにあると考えています。

大学に入ると、4年間を通じてレポート、感想文、論文等の大量の文章を書くことが要求されます。「書くことは読みの氷山の一角」と言われるように、読書は単に情報の摂取のためにあるばかりでなく、思考力を鍛え人間をつくるものです。僕は自分の思考力の重要な部分を読書経験に負っていることをはっきりと感じています。思考力が高まればコミュニケーション力がアップし、脈絡のある文章が書けるようになります。例えば、文庫本・新書の読書を 100 冊こなした人とそうでない人とでは、明らかに、書く内容・話す内容に明確さや説得力にちがいを感ずるのではないのでしょうか。読書はコミュニケーションの基礎であり、読書経験を積み重ねれば対話力がアップします。それだけでなく、幅広いジャンルの本を読み続けることは自分の世界観や価値観を形成し、自分自身の世界をつくっていくことにつながります。こうした自己形成のプロセスとしての読書は楽しいものです。

大学の勉強は大量の本を読むことを前提として行われるのが普通ですので、まずは本を読むという習慣をつけることが学生の本業の基礎であると考えています。

このブックレットを開いていただき、興味をもった本から読み進め、図書館でその本を借りていただければ幸いです。そして、その本を読んだ感想を周りの人と語り合うことで、その本を深めてほしいと思います。多くの方にとって、このささやかなブックレットが本を読むことの楽しさを味わい、読書を習慣とするきっかけになればと願っています。

平成 28 年 3 月

岐阜大学/教育推進・学生支援機構/学修支援部門

教育企画立案学生チーム (eplus)

「岐大読書会」 岩崎 誠

※この企画は教職員の方々はノータッチで、学生主体の読書プロジェクトです

※完成したブックレットは、岐阜大学や全国の教職員の方々（主に教学担当）にもご覧いただく予定です。

<紹介文を書く本の例（岐大の読書会で紹介された本の一覧/一部抜粋）>

- ・「嫌われる勇気」
- ・「年収 1000 万円に届く人、届かない人、超える人」
- ・「夢をかなえるゾウ(水野敬也)」
- ・シャーロック・ホームズの回想（角川文庫）
- ・分身 東野圭吾
- ・獣の奏者
- ・県庁おもてなし課（有川浩）
- ・ギリシャ都市の歩き方
- ・おおきな木（村上春樹が訳した絵本）
- ・聲の形（多今良時）
- ・使命と魂のリミット（東野圭吾）
- ・アイスブレイク～出会いの仕掛け人になる～（今村光章）
- ・ようこそポルトガル食堂へ（馬田草織）
- ・壁を突破する言葉 70（齋藤孝）
- ・ぼくは明日、昨日のきみとデートする（七月隆文）
- ・【「東大国語」入試問題で鍛える! 齋藤孝の 読むチカラ】 齋藤孝
- ・【NHK ルーブル美術館】
- ・虐殺器官 伊藤計劃
- ・「永遠の0」
- ・「自分を愛する力(乙武さん)」
- ・「齋藤孝の速読塾」
- ・「あまからカルテット(柚木麻子)」
- ・「お菓子でたどるフランス史(池上俊一)」
- ・白い巨塔
- ・数学ガール 結城浩
- ・雲の楽しみ方 ギャウイン・プレイター=ピニー
- ・嘆きの美女 柚木麻子
- ・「賢人の仕事術」
- ・「手紙」東野圭吾
- ・「紀州文化を房総にもたらした黒潮の道」
- ・「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」 坪田信貴
- ・「わたしはマララ」(マララ・ユスフザイ)
- ・「さよなら溪谷」吉田修一